

ブラジルのスーパーで買い物



長浜市国際交流員
エバートン

皆さんこんにちは！

今回はブラジルのスーパーについて紹介します。

食料品の並べ方等、見た感じは日本のスーパーとあまり変わりませんが、味噌や醤油のコーナーはもちろんありません。しかし、こうした当たりまえの違いよりも、「そういえば!」と気づかされる細かい違いがより興味深いのではないのでしょうか。

まずは買い物の量。ブラジルでは、「月の買い物」といって、家族全員でスーパーへ行き、保存のきく食料品をまとめ買いします。月に一度の家族行事の様なもので、買い物かごではなく、洋画によく出てくる大きめの買い物カートを使います。そのため、ブラジルのスーパーの通路はとても広がっています。

もう一つは、レジでの支払い方です。日本では、店員が買い物かごから商品を取り出し、レジを通してくれますが、ブラジルでは、カートに入れた商品を全部取出し、コンベアに載せなくてはなりません。レジでは日本と同様、バーコードを読み取りますが、レジを通った商品は、自分で素早く袋に入れる必要があります。コンベアの動きが止まらないので、次のお客さんの買い物と混ざってしまうからです。

私たち外国人の日常生活には、こういった小さな文化や習慣の違いで色々戸惑うことがあります。皆さん、温かい目で見守ってください。



☆ワンポイントポルトガル語講座☆
スーパー・メルカド
Supermercado → スーパー

問 市民協働推進課 (☎65-8711)

語学教室 受講生募集

～初回無料体験できます～

講座名	開講日	曜日・時間	回数	受講料
ポルトガル語(初級)	8月28日～12月11日	水曜日 15時～16時30分	16回	4,000円 (教材費別途必要)
ポルトガル語(中級)	8月27日～1月28日	火曜日 19時～20時30分	16回	4,000円 (教材費別途必要)
韓国語(入門)	8月30日～12月20日	金曜日 10時30分～12時	16回	16,000円 (教材費別途必要)
韓国語(初級)	8月25日～12月22日	日曜日 10時30分～12時	16回	16,000円 (教材費別途必要)
韓国語(中級)	8月25日～12月22日	日曜日 13時～14時30分	16回	16,000円 (教材費別途必要)
スペイン語(初級)	8月25日～12月22日	日曜日 15時30分～17時	16回	16,000円 (教材費別途必要)
キッズ英語(小学1～3年)	8月27日～12月17日	火曜日 17時～18時	14回	16,000円 (教材費込)
キッズ英語(小学4～6年)	8月30日～12月20日	金曜日 17時～18時	14回	16,000円 (教材費込)

【ところ】国際文化交流ハウスGEO(神照町)

【定員】各教室10人程度(先着順)

※受講人数が一定数に達しない場合は、開講を中止する場合があります。

【申込方法】8月18日(日)までに①講座名②氏名
③住所④電話番号を下記のいずれかで

問 申 NPO法人長浜市民国際交流協会

☎・FAX 63-4400 ✉ nifa_info@ybb.ne.jp



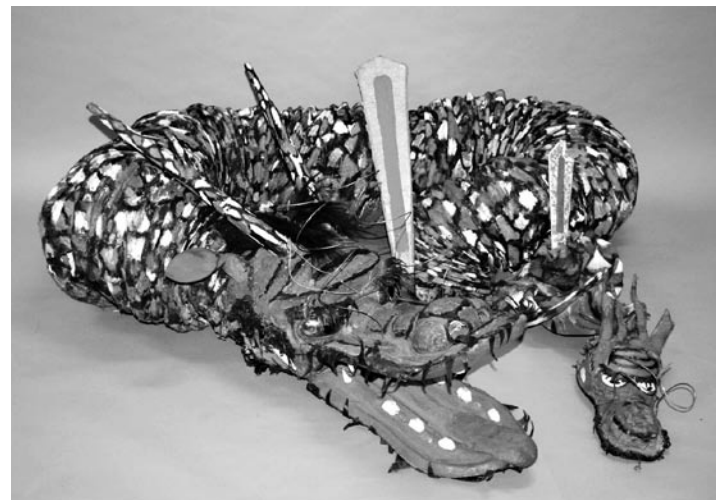
8月は『道路ふれあい月間』 みんなの道路 大切に!

この月間は、道路の大切さを認識してもらい、道路を常に美しく、正しく利用してもらうことなどを目的に設けられたものです。

『ゆずり合い せまい道路も 広くなる』平成25年度小学生の部最優秀標語



8月10日は「道の日」



▲「蛇の舞」の蛇

現在使われている蛇は、平成17年度、文化庁の支援事業によって制作されたもので、オリジナルは長浜城歴史博物館に寄託されています。今年の正月には、巳年のシンボルとして曳山博物館に展示され、注目を集めました。

興味深いのは、「蛇」と呼びながら姿は空想上の霊獣「龍」であることです。これは日本人の蛇に対する神聖視と忌み観が微妙に混濁している結果かもしれません。白い蛇や短くて太いノズチなどは、弁財天や山の神の使いとして神聖視する信仰がありますが、一方で蛇は、指さすと指が腐るので

噛まなければならないといった忌み行為が残っています。

日本人の感覚では、蛇はやはり地上もしくは地中にいるものです。雨乞いなど、人々の祈りを伝えるために、天上界へ昇天するという聖なる行為を行うためには、蛇ではなく、海中の竜宮城に棲み、天を駆け巡る霊獣「龍」に変身する必要があります。

蛇の舞の場合でも、最後の三幕

問 曳山博物館

(☎65-3300)

な顔、大きく裂けた蛇のような口、そして全身をびっしり覆う鱗など実に特徴的な姿をしています。永久寺の蛇は雨乞いの習俗だけでなく、日本人の霊獣観を知る上で貴重な有形の民俗文化財と言えるでしょう。



▲昭和40年代の「蛇の舞」

では、蛇が昇天して雨を降らせ閉幕となります。蛇は弁天堂の幕の中から池の端の松の梢に綱が渡され、火薬の推進力で火を吹きながら昇天するのです。

ところがこの龍にしても中国の龍とは異なります。永久寺の蛇(龍)を見る限り、頭には鹿のような角、猪を引き延ばしたような

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、445件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しします。

※平成25年4月1日現在

滋賀県選択無形民俗文化財

永久寺の蛇の舞 (永久寺町)

平成24年3月19日選択

長浜の盆行事として定着した感のある永久寺の蛇の舞は、8月15日の夜、蛇組によって長浜八幡宮の放生池で繰り広げられます。この厳かで神秘的な舞は、かつて永久寺町の八坂神社の弁天堂でも舞われていたようです。頭や胴部、鉾など一式を納める木箱の表に、「延享四年(1747)」の墨書があることから、江戸時代には雨乞い行事として行われていたことがうかがえます。

伝承する蛇組は9戸、長男が世襲で継承する決まりであり、毎年交替で宿を決め、関係文書や蛇の舞の道具一式を新しい宿に送ります。